

知識工学部 情報科学科

● 人材の養成及び教育研究上の目的

情報科学に関する専門知識と応用能力を兼ね備え、技術を総合的に活用したシステムとしてのコンピュータの開発能力を持ち、世の中の要請に応えるべく、問題の本質を積極的に解決する能力を身に付けているだけでなく、コンピュータが豊かな社会に貢献するための倫理観をも身に付けている人材を養成することを目的とする。

● カリキュラムポリシー

情報工学に関する基盤技術や総合的な情報システムの開発能力を有するとともに、技術者倫理を身に付けた創造性豊かな人材を養成する。情報専門学科におけるカリキュラム標準にも準拠し、以下の能力を修得させるためのカリキュラムを制定する。

1. 自己を確立して社会に貢献するために、様々な社会や文化、および歴史を理解し、世界的な視野で物事を考える能力を修得するための科目を配置する。
2. 技術社会における責任感と倫理観を修得するための科目を配置する。
3. 情報工学を学ぶために必要な数学・自然科学に関する能力を修得するための科目を配置する。
4. コンピュータ全般にわたる基礎とソフトウェア、およびプログラミングに関する基礎的能力を修得するための科目を配置する。
5. 情報工学に関する幅広い視野とその応用力を有する技術者を養成するために「計算機工学」・「メディア工学」・「情報数理」の3つの専門応用科目を配置する。
6. 日本語による論理的記述能力と意思伝達能力の修得、ならびに国際感覚と外国語による意思伝達能力を修得するための科目を配置する。
7. エンジニアリングデザイン能力、およびチームによるプロジェクト遂行能力の修得のため、調査・討論・考察・実験等を行う体験学習科目を配置する。

● ディプロマポリシー

所定の年限在学し、以下の能力を身につけるとともに所定の単位数を修得した者に学士(工学)の学位を与える。

1. 情報専門学科におけるカリキュラム標準に基づいた専門知識と応用能力を兼ね備え、世の中の要請に応えるべく、問題の本質を積極的に解決する能力を身に付けている。
2. コンピュータに関する基盤技術だけでなく、基盤技術を総合的に活用したシステムとしてのコンピュータ開発能力を持ち、コンピュータが豊かな社会に貢献するための倫理観を身に付けている。